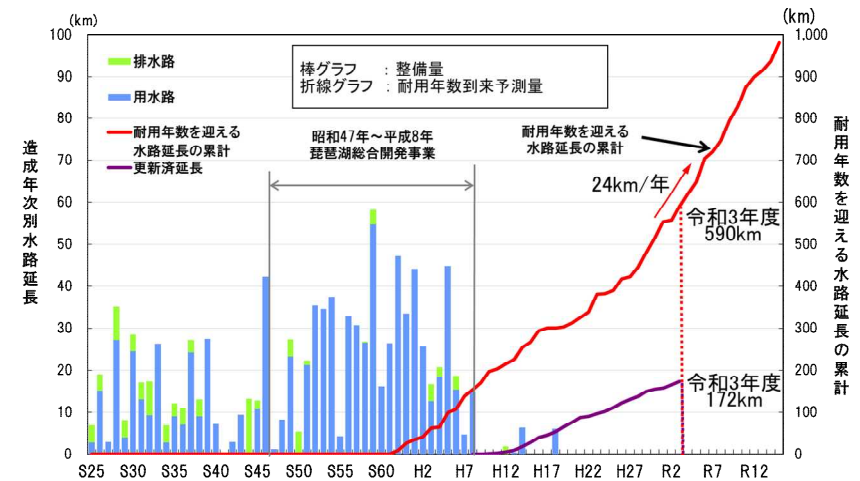


滋賀県農業水利施設アセットマネジメント中長期計画の見直しについて

1 滋賀県農業水利施設アセットマネジメント中長期計画（以下、「中長期計画」）の概要

- 農業水利施設アセットマネジメントは、農業水利施設を健全な姿で次世代に引き継ぐため、機能診断調査に基づく計画的な予防保全の取組を実施し、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を目指すもの。
- 中長期計画は、市町・県・改良区等で構成される「滋賀県農業水利施設アセットマネジメント推進協議会」（以下、「推進協議会」）で10年間の実施計画として策定し、令和2年3月に現在の中長期計画に改定した。
- 中長期計画は、概ね3年ごとに見直すこととしており、今年度で3年が経過することから、計画の見直しを行う。

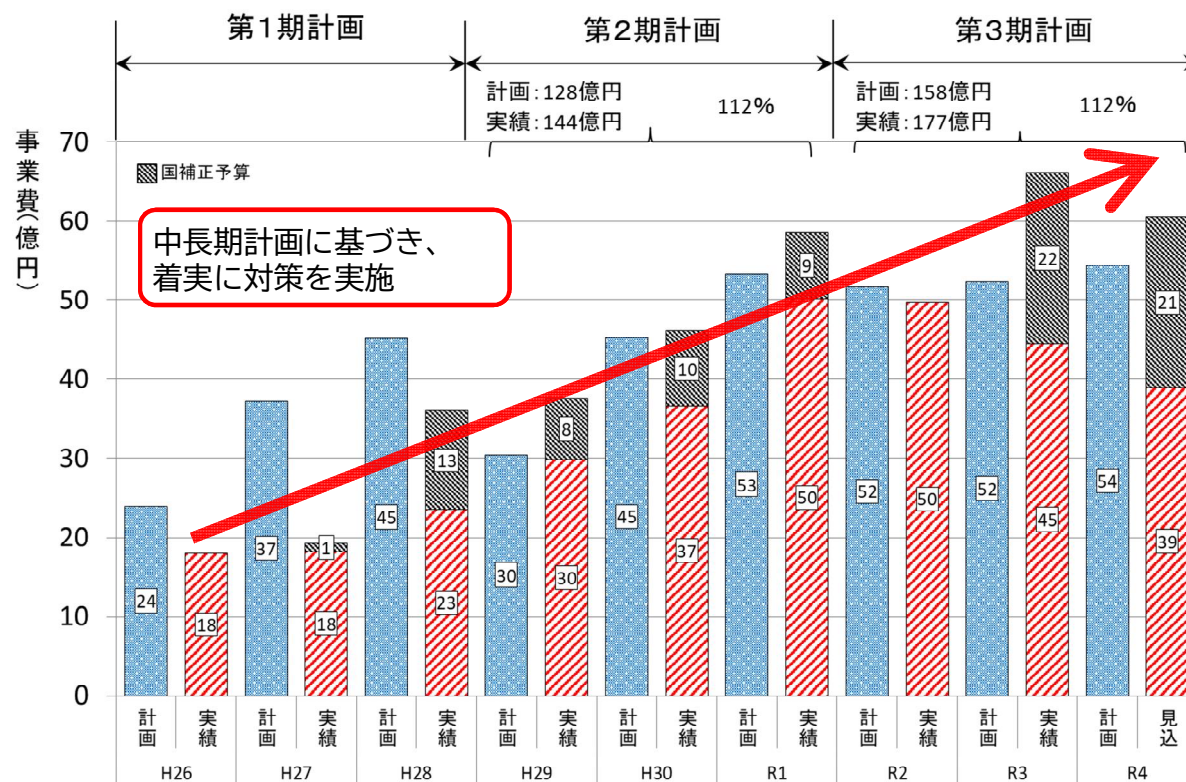
基幹的な水路の整備延長と標準的な耐用年数が到来する延長の推移
(令和3年度末時点)



2 中長期計画の実績について

- 第3期計画（現計画）の予算実績は、国の補正予算※を積極的に活用する等して、
 - ・計画事業費の約112%
 - ・第2期計画に比べ約33億円の増額
 となっている。
- 国の定額調査費を積極的に活用し、機能診断調査を適期に実施。
- 受益者の意向を反映しながら、水利用・水管理の省力化や節水・節電の新技术の導入等を推進。

アセットマネジメント中長期計画 計画事業費および実績（土地改良補助公共（県営・団体営））



※ R2補正～ 防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策

3 中長期計画見直しの基本的な考え方

- 【状況の変化を反映】 施設の機能診断調査や保全更新対策の実施状況等を計画に反映
- 【国土強靱化対策の推進】 地震・豪雨等の災害リスクの高まりを踏まえ、国土強靱化対策を加速的に推進
- 【節電・省力化等の推進】 社会全体のスマート化・グリーン化の動きを捉え、節電・省力化等の機能向上対策を積極的に推進



機能診断調査の状況



国土強靱化対策（排水路改修）



節電・省力化等の推進（揚水機場）

4 中長期計画見直しのスケジュール

- 令和4年8月：推進協議会において中長期計画の改定作業に着手
- 12月：中長期計画（素案）の作成 ⇒ [常任委員会へ中間報告](#)
- 令和5年3月：推進協議会の開催 ⇒ 中長期計画第4期計画の策定
- 5月：推進協議会において改定された中長期計画について、[常任委員会へ報告](#)